

## 第6回 南第一小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2025年11月4日（火） 13:57～15:31	
開催場所	町田市立南第一小学校 3階 家庭科室（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	眞壁委員、水谷委員、大原委員、村松委員、大塚委員、釘田委員、◎安東委員、（◎：会長、○：副会長）
	事務局	新たな学校づくり推進課、施設課、学務課
傍聴者	0名	

### 議事内容（敬称略）

#### 1 第5回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1 説明）

#### 2 報告事項

##### （1） 通学路候補現地確認の実施報告について

新たな学校推進課 （資料2 説明）

委員 （1）のAの道は車の通行が多く、Bの道は生活道路として多くの住民が使っている。どちらも一長一短があり選択に迷う。（2）のところは、信号がすぐ変わるので渡るのはいいが、セブンイレブンの駐車場が常に混雑しているので、注意が必要。（4）は変則的な交差点があり、道も狭く、車もスピードが出ているところなので危険だと感じる。今後さらに情報収集し、他の保護者の意見も取り入れながら意見を出していきたい。

委員 （4）の南町田一丁目31番街区ところは道が狭いのに加え、朝は車、歩行者、自転車、バイクが入り乱れている。自転車は車道を走っていても途中からなぜか歩道に上がってくる。車もスピードが出ている。特に冬場の暗くなった時は、車から見ると歩行者やランブがついていない自転車が見えづらい、通学路にするのであれば相当な注意を要すると思う。

会長 お二人の委員から出していただいたことは、ご指摘のとおりだと思う。（1）のところはAにするかBにするか本当に一長一短で、悩ましいところはあると学校側としても考えている。本校副校長と教育委員会で現地確認を行った結果、車の交通量はBの方が少ない。しかし、あまり道が広くない住宅街で、多くの児童が通るとなると近隣へご迷惑をおかけする可能性があり、生活指導を徹底していかなければならない。また、3月末に見に行ったときも、赤、青、緑の線が重なる十字路のところで、緑の道を通る車が、一時停止があるにも関わらず結構なスピードで走り抜けていくのが見受けられたので、見守りが必要であると感じた。

委員 この十字路は赤の道から来る車が優先であるが、どちらが優先なの分からない人たちの車が詰まってしまうところである。

- 会長                   そうすると、仮にAを通過して十字路を仮校舎に向かって右折した場合はBから来る車と交差する、角は駐車場になっているが逃げ場がないので危険。そう考えるとBの道を通して真っすぐ歩いて車の動きが見やすいように歩いてもらうほうが、若干安心ではある。
- 委員                   中学生は三和の脇の細い道を使っているが、ここも車は通れなくはないので危険。
- 委員                   赤の北上するところは左側に歩道がある。子どもたちは歩道に入る習性があると思うが、そこに賭けて良いか。
- 委員                   そうすると、Bを歩いて北上しながら、歩道に入るほうが動きとしては自然だろうか。
- 委員                   この中の選択肢だったらこれしかないと思う。
- 会長                   Aの道は十字路を曲がるところが意外と心配、そのあたりも配慮しながら、いま一度しっかり点検したいと思う。
- (2)の横断場所については、AかBどちらかを渡らざるを得ない中で、Aを渡るように指定してしまうと、コンビニ駐車場があり、そこに待機することが出来るというメリットもあるが、コンビニ利用の車や自転車の出入りが多いことに加えて、当然本来はコンビニの駐車場なので、そこをたまりとして推奨してはいけないと思う。そうすると通学するにあたってはAとBのより近いほうで速やかに渡るのが良いと思う。この通りそのものは両側どちらを歩いても歩道がしっかりしているので、セブンイレブンのところでたまりを作るよりは、渡れる子はBで渡る方が安心だと思う。
- (3)のプール門に向かうところは、歩かせ方の生活指導の在り方の部分になると思う。歩道がしっかりしていなくて、広くもないという懸念の部分はあるが、一方で、プール門も利用して学校に速やかに入れるほうがいい。迂回して仮校舎の正門へ向かうとなると、また別の不安な道を歩かせることになってしまうので、ここは通学路に指定し、歩き方は指導していくというふうになっていくのかなと考えている。中学生もこの道を通っていると思う。迂回して正門の方に回っている子もいるとは思うが。
- (4)については学校としての通学路指定はできないと思っている。見守りの方などからも見通しが悪く危険であると報告のあったポイントが何箇所もある。どうしてもご自宅の位置的に使わざるを得ないご家庭は十分注意をしたうえで使っていたが、できればここを使わずに通学することを推奨し、通学路指定できないと思っている場所である。ただ、指定していないから見守りを置かないではなくて、一定数子どもたちの利用があるようでしたら、朝の見守り等を検討する。
- 委員                   南町田三丁目に住んでいる人はプール開放門から行く感じのイメージか。
- 新たな学校推進課   住んでいる位置によるが、町谷原通りを現南一小的のほうに来て、上がったほうが早い子は児童用正門から行って、逆に西田峯山公園まで出たほうが近い子は、一旦、南中から離れるが、迂回して大きな通りを歩いて行くようになると思う。
- 委員                   南町田三丁目は住んでいる人が多いので、おそらくルートが分かれると思う。分

かれても問題ないのか。

新たな学校推進課 出来るが限り、通学路に指定した道で出来るだけ早く出てくださいというルールになっているが、実際はお友達と一緒に通えるルートや、通しやすいルートになると思う。

委員 分かりました。

会長 出来るだけ早く通学路に指定している道に出てもらおうことになっているが、何か所かある通学路の中から、どこを通るかはご家庭の判断。今も同じようなところから来ている子が、別のところから来ているケースもある。そこは最終的にはご家庭がお子さんの状況等を確認したうえで決めていくということになると思う。

そのあたりを検討するためにも、来年度の秋に親子通学シミュレーションがあるので、通学路の捉え方としては、そのように見ていただければいいと思う。

## (2) 仮校舎の設計について

施設課 (資料3 説明)

会長 各階平面図の2階の南校舎の部分について、紫色で特別支援教室が4つ並んでいるが、これは南四小が使うときの配置で、南一小が使うときは、ここは普通教室になって、トータル普通教室が24部屋確保できているという認識で良いか。南一小は多ければ23学級ぐらいになると聞いている。

施設課 色を分けたが、南一小では普通教室で使い、南四小では特別支援教室で使うという形を想定している。教室の仕様としては普通教室と同じ様に整備する。

会長 本校の想定の学級数には十分足りるだけの準備をさせていただいているということで、委員にもご確認いただきたい。

委員 すべての教室にエアコンは設置されるのか。

施設課 倉庫や、児童や先生が普段執務をされない部屋についてはエアコンが設置されないが、特別教室、普通教室、あと管理諸室系については全て空調機が設置される予定。

委員 体育館には設置されるのか。

施設課 体育館にも設置される。

委員 設置されないところが分かるように、印がついているといいと思う。

施設課 平面図のグレーで塗られている倉庫、外部用倉庫、教材室、青い部分のトイレ、手洗い、濃い黄色の部分の荷物置場等については設置しない予定。それ以外については、概ね設置される予定。

委員 下校時は、原則児童用正門を使用するとあるが、下校時はプール開放門のほうは使えないということか。

新たな学校推進課 プール開放門については、中学校の管理諸室、職員室などから目が届かないため、常に開放するのは管理上難しい面がある。必ず大人が立ち会える状況であれば使うことは出来る。例えば低学年の子どもたちがクラス全員で下校する場合、先生が門を開けてから閉めるところまで立ち会うようであれば下校の時間も利用できるよう

にする予定。ばらばら帰るような時間帯については、高学年の子は児童用正門から迂回してもらうことを今のところ想定している。

会長

荷物置場も今までにはない中で用意されていて、児童の荷物がクロームブックも含めて増えている中で、管理ができるスペースを確保してくださっている。仮校舎ではあるが、図面を見ると教室的には今より少し余裕がありそうだと学校としては見ている。

(3) 南第一小学校の新校舎の設計について

施設課

(資料4 説明)

委員

(3) その他の左側の晴海西小中学校の校舎の写真について、他の5枚の写真はラーニングスペースやオープンスペースの例に見えるが、この写真は何をイメージした写真なのか。

施設課

ラーニングセンターやオープンスペースとは直接関係はしてないが、今回の設計ではZEB Readyという、省エネ対策を加味した設計をしており、従来の学校と比べて、エネルギー使用量を半分以下にする形で検討を進めている。その中で、写真のような壁面緑化やバルコニーを入れていくことで、日光が遮れる効果があるためイメージとして載せさせていただいている。

委員

上のパネルのようなものは何か。

施設課

太陽光で発電をする太陽光パネル。

委員

南第一も太陽光パネルの設置を検討しているか。

施設課

検討している。太陽光パネルを入れないと、エネルギー使用量50%削減というのはおそらく実現できない。

委員

オープンスペースについてなんですけれども、完全なオープンスペースというよりも、あるときはオープンスペースになって、あるときは個別の教室になるような、両方使えるような設計を考えているのか、それとも完全なオープンスペースで考えられているのか。また、オープンスペースについて、一時期、随分オープンスペースの学校を見学したが、いいという人と、よくないという人という、そのあたりの評価は現状から見てどうなのか。

施設課

設計が始まったばかりなので、明確には回答できないが、現在市内で4校、新校舎建設の計画が進んでおり、いずれもオープンスペースを作る計画になっているが、法律や安全面等の要因もあり、教室と廊下を間仕切る扉は設置するが、完全に区画することは想定していない。今後は、設計事務所の事例を参照しつつ、学校へのヒアリングを行い、使いやすいオープンスペース、教室を目指していく。

新たな学校推進課

補足を少し入れさせていただければと思う。先ほど施設課からも説明があったように、オープンスペースと教室の間には、スライド式の間仕切りを設けるような形を考えている。集中して授業をやりたいときは間仕切りを閉じて授業を行い、グループワークなどの広いスペースが必要な時には間仕切りを開けて授業を行うなど、様々な形で授業ができるよう考えている。

また、オープンスペースの評価については、この新たな学校づくりを始めたときの審議会の中で、これからの学校はどういう学校づくりをすればいいのかというのを議論している。その中で、協働的な学習が今後増えていくというところを踏まえ、様々な学習で使えるようなオープンスペースがあるほうが子どもたちの教育にとっていいだろうということで、オープンスペースを作る方針となった。

町田市はオープンスペースがある学校が少ないため、オープンスペースを実際に使った経験のある先生が少ないと思う。そういったところについては、指導課なども含めて、先生に対して、オープンスペースの使用方法についての研修や、マニュアルの作成を行い、オープンスペースを有効に活用できるような体制を整えていく。

委員

町田市は少ないかもしれないが、他地区からオープンスペースでやってきた先生が異動してきて町田市にいるケースは考えられるので、そういう先生方の意見を聞くというのもひとつの方法かと思う。

また、使うのは教員なので、現在の南一小の職員の意見やアイデアを求める必要もあると思う。業者が設計を進めてよいが、そのこのところをうまくすり合わせるような機会をぜひ作っていただければと思う。

新たな学校推進課 ありがとうございます。適宜、先生たちの声も伺いながら進めていきたいと思う。

ついこの前も、設計事業者が南一小に、子どもたちや先生の様子を見学にいらして、その中で子どもたちからちょっと話しかけられたり、先生たちにご意見を聞いたりしていただいている。そういった声も反映しながら進めていきたいと思っている。

委員

南つくし野小学校が、近い将来、廃校が決まっていると聞いた。南一小に近い子ども、今のままだとつくし野の駅の近くのつくし野小学校に行かないといけないのかなという声も聞いている。例えば南つくし野小学校に通っていた子どもたちがこちらに来るようなことになった場合に、校舎の収容能力や学童にどれくらい入れられるのかなど、その辺を踏まえたうえで計画しているのか。

新たな学校推進課 南一小の児童数の推移については、新しい学区と今の学区で推計をしている。新校舎になったときに、児童数が増加している鶴間小の学区の一部を南一小の学区に組み込むような形を考えている。そこを組み込んで、かつ南町田の駅付近のエリアは子どもたちの数が減らないということを踏まえても、23学級程度が最大と予想しており、学級数としては十分充足できるような形の新校舎、仮校舎が建つと考えている。

会長

先ほど、実際に使っている現場の教員や子どもたちの声をというご意見もあったが、先日、子どもたちが登校してくる少し前の8時前から、石本建築事務所の方が数名ご来校くださり、子どもたちが帰る4時過ぎまで、丸1日、登校して昇降口を使う様子から、子どもたちが教室で、どのぐらいの荷物を持ってきて、どんなふうにそれを扱っているのかということや、休み時間の子どもの動き方、授業の教室移動、特別教室に行くときの動線、給食の様子など、様々な場面を見てくださった。その中で子どもたちや教員たちにも声をかけて、意見聴取もしていた。そういう機会を何度

か重ねて、ブラッシュアップしていければと思っている。

(4) 南中学校に建設する仮校舎説明会の開催報告について

新たな学校推進課 (資料5-1、5-2 説明)

委員 テニス部のみを新規部員募集を停止にして、他の部活はこれまでどおりに活動するのか。

新たな学校推進課 現在のところ募集を停止したのはテニス部のみである。グラウンドが狭くなるので、グラウンドを使用する部活については、学校のほうで練習メニューや活動日を工夫してもらったり、代替の場所を検討したりしながら活動を続けていく予定である。

委員 代替地は、具体的にはどこになるのか。

新たな学校推進課 現在検討中のため、この場では明確にはお伝え出来ないが、南中学校の近隣小学校など、放課後に徒歩で用具を持っても行けるような範囲で検討している。

(5) 引き継ぎたいもの・ことについて

新たな学校推進課 (資料6 説明)

委員 プロが撮影するのか。

新たな学校推進課 事業者に委託し、プロの方とプロの機材で撮影する。フォトアルバムに使用する写真については、学校に写真を提供していただく形を考えている。

会長 写真については、本校でも去年あたりから、季節ごとに、子どもたちや学校の風景を意図的に教員が写真を撮っているところで、学校としても何かの形で、データを思い出として残したいと思っている。

委員 前の世代の人たちが見て、懐かしめるような昔の写真なども残っていれば、フォトアルバムに入れることが出来るのか。

新たな学校推進課 360度パノラマとVRツアーは現在の学校の様子しか撮影することしかできないので、昔の写真などはフォトアルバムで残すことになる。QRコードを載せているが、これまでメモリアルコンテンツを作成した学校については特色が様々で、子どもたちの様子を載せているような学校もあれば、学校の歴史ある郷土品を載せている学校もある。その中で昔から残っていたものとか昔の写真を残すというのは、データが残っていれば、検討の余地はあると思う。

委員 写真などで授業を受けている風景や、黒板など、全部は無理だとしても、6年生だけでも残してあげてもいいのかなと思う。

新たな学校推進課 子どもたちの登校の様子や授業を受けている様子は、町田市のホームページに掲載するので、顔が写らないように配慮はしないといけませんが、授業を受けている様子なども、この学校が使われていたという思い出に残ると思うので、フォトアルバムに入れていただいてもいいと思う。

委員 出来上がったものは、本校に関わる人だけではなく、広く皆さんが見られるような公開の仕方になるのか。

新たな学校推進課 町田市ホームページからもリンクが張られるので、一般の人にもアクセスできるような状態になる。物品の写真だけだと少し物足りないかなというところもあるので、子どもたちが写る風景の写真については個人情報の関係などとの兼ね合いを考えながらと思っている。

(6) 子ども向け意見フォームの開設とこれからの学校を考える授業について

新たな学校推進課 (資料7 説明)

委員 社会科とか総合的な学習の時間も大切であるが、道徳科に愛校心や集団生活の充実、地域への愛情といった項目が入っているので、授業するならば、そういうのを視野に入れていただけるといいと思う。

新たな学校推進課 ありがとうございます。貴重なご意見として頂戴させていただく。

### 3 検討事項

(1) 校舎お別れイベントについて

会長 (資料8 説明)

委員 学校の方で校舎お別れイベントの第一弾として、今年度中に校舎内の廊下や階段に感謝の気持ちをお花の絵に表して、感謝の花をプレゼントしようという校舎ペインティング計画を進めている。図工の学習の連携授業でお世話になっていた、ぺんてるとキャノンの両社が協賛してくださり、絵を描くための画材を全て提供してくださる。

第二弾としては最終年となる来年度に校舎の外側に、お別れを地域に発信できるような壁面装飾ができればいいと思っている。これについては、外に見えるような形となると制約もあるようなので、行政と連携しながらやっていければ思う。

また、校舎見学会や、本校は閉校してしまうわけではないので、子どもたち中心の児童による校舎お別れ集会みたいなものもできたらいいなと思っている。

委員 PTAでは南一小周辺は住宅が多いこともあって、バルーンリリースや花火は難しいという話があった。また、極力協力したいが、このようなイベントを開催したことがないので、どのくらいの負担感になるのかというところを皆さん懸念している。そのため、規模が大きいと負担が強くなってしまふのと、今のPTAの方たちがそのまま来年度も残ってもらえるわけではなく、来年度の方たちに引き継がないといけないといった要素を加味しつつ、協力出来たらという意見が出ていた。バルーンリリースとかであれば当日ちょっと準備したりすればいけるのかなとも思うが、これまでイベントをやってきた学校がどのように開催してきたのかを、もし参考資料のようなものがあれば、情報をいただきたいと思っている。

委員 ペんてるとキャノンの取組で作成した絵はデジタル保存の対象にはなっていないのか。子どもたちが一生懸命、壁に絵を描いている様子や、完成が徐々に近くなっていく様子を、最初から最後まで1つのドキュメンタリーみたいな感じで作ると、子どもたちも非常に喜ぶと思う。

南一小は閉校や開校ではなく、あくまで建替えなので、大袈裟なイベントを開催するよりも、子どもたちの取組を地道に映像として残すのがいいと私は思う。

新たな学校推進課 花火については、例えば鶴三小の場合、隣に鶴二中があるので、鶴二中で花火を上げて、鶴三小の校庭で全見するという形で開催したと思う。本町田東小も、同様の形で開催したと思う。

バルーンリリースについては、本町田小、鶴三小、南二小のうちの本町田小、鶴三小は、周りが団地になっていて、戸建住宅が周辺にたくさんあるようなところではなかったこともあってか、苦情を受けたということは今まではない。

委員 バルーンで何か作るとかでもいいと思う。ここが仮校舎になったときに、別の小学校に行かれる方もいるようで、子ども達が喜ぶことを何かしてあげたいという一環でイベントを考えているので、大規模なものでなくてもいいと思う。PTAとしては、子どもたちに心に残るようなイベントをしたいと考えているので、引き続き意見を募ってみようと思う。

委員 南一小は閉校ではないので、親しんできた校舎とのお別れを名残惜しむようなイベントを何か最後に出来ればいいと思っており、ほかの学校のような大きなイベントでなくていいと思う。それよりも、校舎や敷地に愛着を持ってくださっている地域の方たちや同窓生とお別れを共有できるようなイベントになればいいと思っている。そこを踏まえて、イベントや、同窓生や地域の方のお力を借りながらできそうなことについてアイデアをいただけたら、検討も出来ると思うので、今後も引き続きよろしくお願いします。

委員 キャノンにアルバム作ってもらえないか。

会長 キャノンがデジカメを貸してくださって、児童がお互いに壁画の制作過程を撮影したものを、キャノンのホームページに掲載してくださる。

委員 壁画制作の過程を思い出の記録に残すのに、多少の費用が掛かるのであれば、イベントに向けた予算をこちらで使うのはいいかと思う。そうすることで、離れていく人たちの思い出にも残ると思う。どのように記録に残すか具体的なイメージはないが、何らかの形で残すのはいいと思う。また、周辺にお住いのOBやOGの方達から意見を聞いてみるのも良いと思う。

会長 ご意見ありがとうございます。ご意見を参考にさせていただいて、学校のほうで検討したいと思う。

今回のプロジェクトのテーマは「歴史と共に成長してきた南一小へ 感謝の花をプレゼントしよう」と子ども達が決めた。子ども達も強い思いを持っているので、何かの形で残してあげられたらと思う。

また学校のほうでも、何か少しずつ具体的なものが見えてきたら、都度、皆さんに発信していきたい。

その他



委員                   今の校舎は避難所として使用しているが、仮校舎に移転するときに災害用の備品や避難所としての機能も引き継がれるのか。

新たな学校推進課   基本的に避難所機能は、仮校舎にも引き継がれる想定。ただ、どのように避難所の連絡会などを設けていくかは、来年度1年間をかけての調整事になる。次回の推進協議会の中で、防災課のほうからご報告をさせていただこうと思う。

施設課               避難所機能は基本的に仮校舎に移す。防災倉庫も仮校舎に作るが、設計するにあたり、実際に残す備品がどのくらいのボリュームになるのか把握が必要。防災課とこちらの方で確認させていただく。

#### 4 次回開催予定

新たな学校推進課   第7回基本計画推進協議会

2026年2月24日（火曜日）14時00分   南第一小学校家庭科室

会長                   （閉会）